



PDF

32. ベニシジミ / シジミチョウ科



春型♂表

春型♀表

夏型♂表



春型♂裏

春型♀裏

夏型♂裏

他に似た種類はない。雌は雄にくらべ翅型が丸味を帯びる。夏型は地色が暗色となり、黒斑が不明瞭になる。

西神戸の田園に数が多いが、明るい草地や路傍では普通の種である。

路傍や畔の草の上を低く飛び、飛翔は速いが、すぐ草上に止まる。早春は日中の暖かい時に活動がみられる。タンポポ科類、シロツメクサ、キツネノボタン、ヒメジョオン等、各種の草の上で吸蜜する。雄は占有性を見せ、草の葉上に静止して他の蝶を追って飛び立つのがみられる。

発生回数は神戸の低地ではおそらく5化以上と見られる。第1化は春分に先立って3月上旬より羽化する。6月上旬頃から夏型の発生を見るが、秋冷と共に春型に近い色彩になる。成虫は11月いっぱい見られる。

幼虫で越冬する。

食草はタデ科でおもにスイバ、ギシギシ。